

ご協力ありがとうございます！

(平成29年3月1日～3月28日、敬称略)

新入会：渡辺裕二

☆新入会募集中です！

寄付金：田上征弘、井上保、西鉄旅行(株)、(株)コイン(有)医療事務研修会、オイスカチェリティゴルフ実行委員会、保育園ひなた村自然塾明日香美容文化専門学校、(株)木下写場オイスカ国際活動促進福岡県議会議員連盟

寄付品：原田明、鶴田喜代子、浦川協子

Cross Road ～情報交差点～

4月の予定

- 4日(火)国際協力ボランティアコース3名入所
- 6日(木)技能研修生デオ、本石産業配属
- 9日(日)MUFG コース研修生入国/家政科研修生入所
- 10日(月)オイスカコース研修生2名入所
- 11日(火)MUFG コース研修生入所
- 12日(水)新研修生対面式
- 15日(土)体験農園 酵素づくり
- 19日(水)～22日(土)室町ケミカル(株)新入社員研修
- 29日(土)ワッキー主基の里15周年イベント出演

まるごと!西日本



発行：(公財)オイスカ西日本研修センター まるごと部
福岡市早良区小笠木 678-1

TEL(092)803-0311 FAX(092)803-0322

E-mail: oiscantc@oisca.org 検索 **オイスカ西日本**

第 644 号

平成 29 年 4 月号付録



アテナの私に言わせて

冬が終わって、春が来ています。どんどん暖かくなってきます。冬で固まっていた体がリラックスできるようになってきました。そして、そろそろセンターの桜がきれいに咲きます。センターの周りに薄いピンク色が広がります。特に、風で花びらが落ちると、非常にきれいです。今の時期に、木の下でのんびりすると気持ちがいいです。皆さん、センターの桜並木を見に来てください。きれいですよ。

鬼木大明神の一句

もし、大きな壁にぶち当たった時も怯むことなかれ諦めることなかれ「負けるものか！」の気概を持って全身全霊で立ち向かうのだ！何度でも立ち向かい続ければ必ず壁は乗り越えられる。

挑戦し続ければ神は見捨てない！



職員のスヤディさん帰国

企業内転勤で3年間来日していたインドネシアスタッフのスヤディさんが任期を終え、研修生と一緒に帰国しました。1年9か月四国研修センターで、その後、1年3か月西日本研修センターで野菜、果樹の管理を中心に研修生に指導してくれました。今後はインドネシアスカブミ研修センターに再赴任し、再び指導に当たります。3年間ありがとうございました。



体験農園便り

桜の開花予想が発表されてから真冬並みの寒さが続き、草花の成長が一休みした感じがありました。オイスカ体験農園の開始式が3月4日に行われ、その時にニンジンとジャガイモの種をまきましたが、なんと3週間ほどしてからようやくニンジンの芽がちょっとずつ出てきたのです。1ミリほどの小さい種が、寒さにこらえながら3週間辛抱してようやく芽を出したその瞬間は本当に感動的で、よくぞ頑張ってくれたとほめたくります。春は沢山の植物が一斉に芽吹く季節、花粉症の人は大変でしょうが、植物の命のパワーを実感しながら、オイスカの農園は忙しい日々を迎えようとしています。(豊田)



←ニンジンの種まきの様子

海外派遣事前研修 矢野さん入所

2014年から2年間、JICA シニアボランティアでパプアニューギニアで活動されていた矢野明宏さん(72歳)、「オイスカシニアボランティアとして再びパプアニューギニアを訪れ、陸稲栽培の指導をしたい！」という強い思いで、オイスカラバウル研修センターへの派遣予定。事前研修としてここで有機農法とオイスカ精神に磨きをかけます。短期ですがよろしくお願いします。モットーは「失敗を肥料として大きく成長する!!」



矢野 明宏



28年度研修生帰国

3月7日の早朝に1年間過ごしたセンターと職員、お世話になった地域の方々とお別れをし、海岸林復興プロジェクトの視察と会員さんとの交流の為、宮城県名取市を訪れました。翌日、念願の新幹線で東京に移動し、8日～11日にかけて東京都議会のオイスカ国際活動促進議員連盟の方々への活動報告会と懇親会、杉並和泉学園の学生と交流、アクションプラン発表会、MUFG本社にてMUFGコース研修生修了式、MUFG関東地区の社員の方との料理交流会と全ての日程を終えました。そして、11日にパプアニューギニア研修生2名、12日にカンボジア、フィジー、インドネシア、マレーシア、ミャンマー、チベット研修生、13日にモンゴル研修生が帰国しました。1年間ずっと一緒に勉強し、食事を摂り、お風呂に入って、同じ屋根の下で寝た研修生達。厳しい壁もあったり、寂しい時、嬉しい時...色んな事があった1年間ですが、いつも傍にいた研修生達は1つの大家族になりました。熱い絆に結ばれた研修生同士のお別れはとて寂しく、涙が止まりませんでした。日本での幅広い経験と多くの思い出、そして全ての大切な出会いをしっかりと胸に、逞しくかっこいい姿で旅立ちました。それぞれが母国で活躍できることを願っています。(榮)



研修生のアクションプラン



カンボジアで新しく始まるオイスカのプロジェクトに携わる！
ソヘイン、パニヤ

美味しいお米とお酒を造る！
マイク

オイスカラバウルセンターと村で有機農業を教える！
コノール、フレッド

しいたけの栽培をする！
ザグダ

生姜の栽培をする！
パサン

スイカとお米の栽培をする！
マー

オイスカフィジーセンターと村の人たちに有機農業を教える！
ジョシ

1.母校の農業高校の学生に教える！
2.しらたけの栽培をする！
レスカ

1.オイスカスカブミ研修センターで教える
2.唐辛子の栽培をする
ヘリ

日本料理レストランを開く！
インタン

北九州エコタウン、トヨタ自動車工場見学

3月1日、北九州エコタウン、トヨタ自動車の工場見学へ行きました。エコタウンではペットボトルと空き缶のリサイクル法を学び、循環型社会と環境を守っていくことの大切さを改めて感じさせられました。トヨタではレクサスの組み立て工場の見学をしました。どちらもロボットだらけの工場



研修生は驚くと同時に、日本の高い技術と様々なアイデアに感心していました。(榮)

上総掘り講習会

日本の伝統井戸掘り技術の「上総掘り」を保存しようと活動されている糸島市の火山山山保全交流会の方々や九州電力、西日本技術開発の有志の方々のご協力で、平成26年度よりオイスカの敷地内にも上総掘りの設備を設置していただき、以来研修生に対しても研修の一環としてご指導を頂きました。夏には、無動力で水圧を利用した「水撃ポンプ」の実践も行って頂きました。生活用水だけでなく農業をする上でも水は欠かせないものであり、水の確保が重要になってきます。動力を使った井戸掘りや水のくみ上げは、経費もかかり実用は困難な地域もあります。このような日本の伝統的な技術を学ぶことで、少しでも彼らの役に立てば幸いです。当日は、とても寒い日でしたがご指導に来て下さった講師の方々にも感謝いたします。(彦坂)



LOVE FM フェスティバルにてカレー販売

LOVE FM開局20周年を迎え、LOVE FMフェスティバル2017が福岡市役所西側ふれあい広場で開催されました。イベントは多国籍グルメコンテンツ「世界丼(ワールドン)」をテーマにオイスカは3月11日、12日の2日間ASEAN友好協会のブースでマレーシアカレーの販売をしました。イベント3日間を通して45,000人の来客者に恵まれブースには多くの方に足を止めて頂き、カレーを食べていただきました。ありがとうございました。(満川)



プチ卒業旅行

3月5日、最後の福岡観光として太宰府天満宮と、(株)西部ガス様にご招待頂き、初めてのスケート体験に行ってきました。天満宮では日本らしい景色を見ることができ嬉しそうでした。スケートでは、最初はペンギン状態でしたが、最後には、すいすい気持ちよさそうに滑っていました。非常に楽しい1日になりました。(榮)



八江農芸視察研修

3月3日(金)、長崎県諫早市の種苗会社、八江農芸へ研修生を連れて視察研修に行ってきました。この会社は、長年に渡ってオイスカの海外研修生に対し研修の受け入れをして頂いており、今回も農場の視察だけではなく、種の採取方法から栽培方法にいたるまで詳しく説明して頂きました。研修生の国では種の品質があまり良くないため、自分の国でも応用できる種の採取方法を理解する事が出来て大変勉強になったと感想を述べていました。帰国前の彼らにとって、今回の経験は大変貴重なお土産となりました。(豊田)



第5回 グリーンウェイブ朝倉水源の森創り

3月19日(日)、朝倉市の寺内ダムの上流、旧畜産団地跡地でグリーンウェイブ朝倉水源の森実行委員会(会長:林裕二福岡県議会議員)が主催する「第5回 グリーンウェイブ朝倉水源の森創り」が行われました。朝倉市とその周辺で活動している企業、団体、学生など150人を超える参加者があり、センターからはスタッフと研修生合わせて5人が参加しました。当日は天気も良く汗ばむぐらいの気候で、桜の木150本を植樹しましたが、作業自体は30分ほどで終了しました。この活動は10ヶ年計画で行われ、今回が5年目でした。今回ご参加頂きました皆様、本当にありがとうございました。来年以降も継続して行きますので、引き続きご協力をお願いします。(安東)



西日本研修センター設立50周年に向けて

昭和43年2月15日に福岡市西区姪浜にオイスカ西日本センターが設立され、本年度で創立50年を迎えます。平成3年9月に当地、早良区小笠木に移転し、海外の優秀な人材を育成するセンターとしてより一層の活動を展開しております。50年の間に、約1420名以上、25ヶ国からの人材を受け入れ、人類生存の基盤となる農業を中心として、各国で母国の為に活躍する人材を育成してきました。また、来日研修生との交流で、多くの国内人材との交流も実施し、アジアの玄関口、九州としての位置付けに貢献してまいりました。創立50年の年、長きに亘りオイスカ活動にご理解とご支援を頂きました多くの方々に感謝するとともに、今後の50年の未来に向けてのメッセージを発信しなければなりません。年間を通してイベント、式典等で皆様への感謝をお伝えします。よろしくお祈り致します。 所長 廣瀬

オイスカ国際活動促進福岡県議会議員連盟 寄付金贈呈

1985年より継続的にご支援頂いている議員連盟(会員74名:会長・塩川秀敏様)より、本年度も寄付金30万円を贈呈頂きました。海外青年の人材育成の補助として活用させていただきます。議員連盟では、本年度はフィジーへの視察にも10名の先生方に参加していただき、多くのOB達に面会し、オイスカの人材育成の成果を確認頂きました。皆様のご支援が活かされております。今後ともよろしくお祈り致します。(廣瀬)



熊本復興支援 草刈り、農業ボランティア

3月25日(土)、研修生が帰国してから2週間ほど経ちますが、今回の西原村での草刈り、農業ボランティアはスタッフを中心に11名で参加してきました。農業ボランティアについては、三菱UFJニコスの社員14名と玉名市にある北稜高校の生徒7名も参加して賑々しく実施されました。当日はあいにくの小雨模様でしたが、地元の方も参加して3haほどの棚田の畦畔や農地の草刈りを無事終了する事が出来ました。農業ボランティアについては、サトイモの収穫や草取りの作業を手伝いながら農家さんとも交流を深める事が出来ました。福岡から参加された三菱UFJニコスの社員の皆さんも、



「農作業のお手伝いだけでなく農家の皆さんとお話したりすることで、少しでも元気になって頂ければ嬉しいです」と感想を述べていました。震災からもうすぐ1年が経とうとしていますが、倒壊した家屋などはきれいに片付けられて更地になってきていますが、本当の復興はこれからという事で、オイスカとしても農業の分野で少しでもお手伝いが出来ればと考えています。今後も月1回の予定で実施します。皆様のご参加お待ちしております。(豊田)

会員さん募集中!

オイスカでは多くの会員様にご支援を頂き活動を展開しております。今年度も随時新会員も募集しています。お知り合いの方へのご紹介もよろしくお願い致します。入会制度は、年度を四半期に分け、入会月により初年度会費が変わります。(右の表をご覧ください。)次年度からは全額の会費をご納入していただくことになります。これからも更にご支援の輪を広げていけるよう努めてまいりますのでご協力よろしくお願いします。ご不明な点がございましたらお問い合わせください。担当:満川、安東

初年度会費 (H28年度より)

・ 特別個人会員 (年額一口)				
入会月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月
会費額	50,000円	37,500円	25,000円	12,500円
・ 特別法人会員 (年額一口)				
入会月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月
会費額	100,000円	75,000円	50,000円	25,000円
・ 維持個人会員 (年額一口)				
入会月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月
会費額	20,000円	15,000円	10,000円	5,000円
・ 維持法人会員 (年額一口)				
入会月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月
会費額	40,000円	30,000円	20,000円	10,000円